

4 市町村の貯金と借金

前回、合併して誕生する新しい市の財源見通しについてお知らせしました。
合併を検討する場合、お互いの財政状況は関心事項の一つです。

家計に例えるなら、基金は貯金であり、地方債は負債・借金です。今回は 4 市町村の家計簿をお知らせします。

○市町村の貯金について

市町村の貯金（基金）の種類は、大きく分けて財政調整基金、減債基金、特定目的基金の 3 種類があります。
市町村では、これらの貯金を毎年度積立て、あるいは取り崩して計画的な財政運営を行っています。

○市町村の負債・借金について

市町村では、将来にわたって使用する施設（学校・保育園等）や道路等を整備するために計画的に資金（地方債）を借入れ、返済にあたっては、施設等を利用できる幅広い世代で負担をしています。

ただし、その資金の返済額（元利償還金）には地方交付税に算入されるものもあり、市町村が実際に返済する金額は少なくなります。

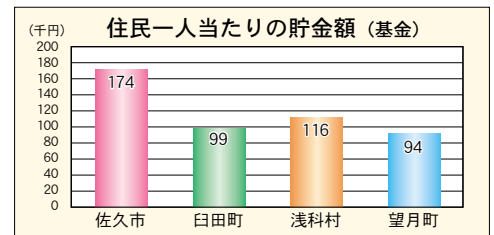
貯金から借金を差し引いたものが、純貯金額となり、マイナスの場合は純負債額ということになります。
平成 14 年度普通会計の決算状況で見てみましょう。

4市町村の家計簿

貯金(基金)の状況

項目	市町村	佐久市	臼田町	浅科村	望月町
貯金合計 (A)		116.7 億円	15.4 億円	7.7 億円	10.0 億円
住民一人当たり貯金額 (B)		174 千円	99 千円	116 千円	94 千円

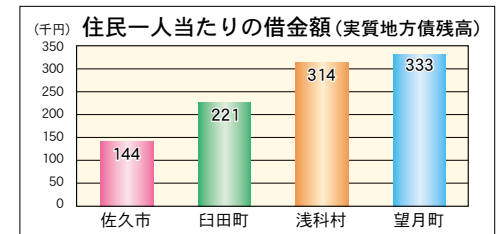
*基金には定額運用基金は含みません。



負債・借金(地方債)の状況

項目	市町村	佐久市	臼田町	浅科村	望月町
地方債残高		230.6 億円	79.2 億円	54.4 億円	82.2 億円
住民一人当たり負債額		344 千円	511 千円	820 千円	774 千円
実質地方債残高(C)		96.7 億円	34.2 億円	20.8 億円	35.4 億円
住民一人当たり実質負債額 (D)		144 千円	221 千円	314 千円	333 千円

*実質地方債残高：地方債の元利償還金の一部は、交付税により補てんされます。したがって、実質的な市町村の負担分は少なくなります。

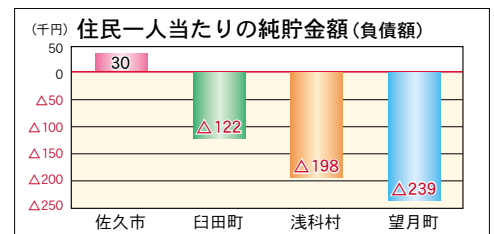


純貯金額の状況(貯金-借金)

項目	市町村	佐久市	臼田町	浅科村	望月町
純貯金額 (A)-(C)		20 億円	△ 18.8 億円	△ 13.1 億円	△ 25.4 億円
住民1人当たり純貯金額 (B)-(D)		30 千円	△ 122 千円	△ 198 千円	△ 239 千円

*赤字になっても、それに見合った社会資本の整備がされていれば、必ずしも不健全な財政運営であるとは言えません。

*人口は住民基本台帳数(H15/4/1)を使用しています。



合併を検討する場合に、各市町村の財政状況は一つの重要な指標となりますが、同時に市町村を取り巻く社会情勢も大きな課題です。

- ・ 少子高齢化から間もなく訪れる人口減少社会への対応
- ・ 地方分権社会への対応
- ・ 多様化、高度化する住民ニーズへの対応

これらの要因を総体的に捉え、広い視野で、将来を見据えた判断をすることが大切です。

市町村合併は、20年・30年先の新しいふるさとづくりの第一歩です。